

上田市長3期目のまちづくりがスタート!

問い合わせ

- ◎第3次札幌新まちづくり計画については政策調整課☎211-2206
- ◎新たな行財政改革に関するプランについては改革推進部推進課☎211-2061
- ◎補正予算については財政課☎211-2212



上田市長

4月10日の選挙で3回目の当選を果たし、新たなまちづくりに奮闘中。



ギユウ太

南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サッポロカイギユウ」の子孫。



ナナ

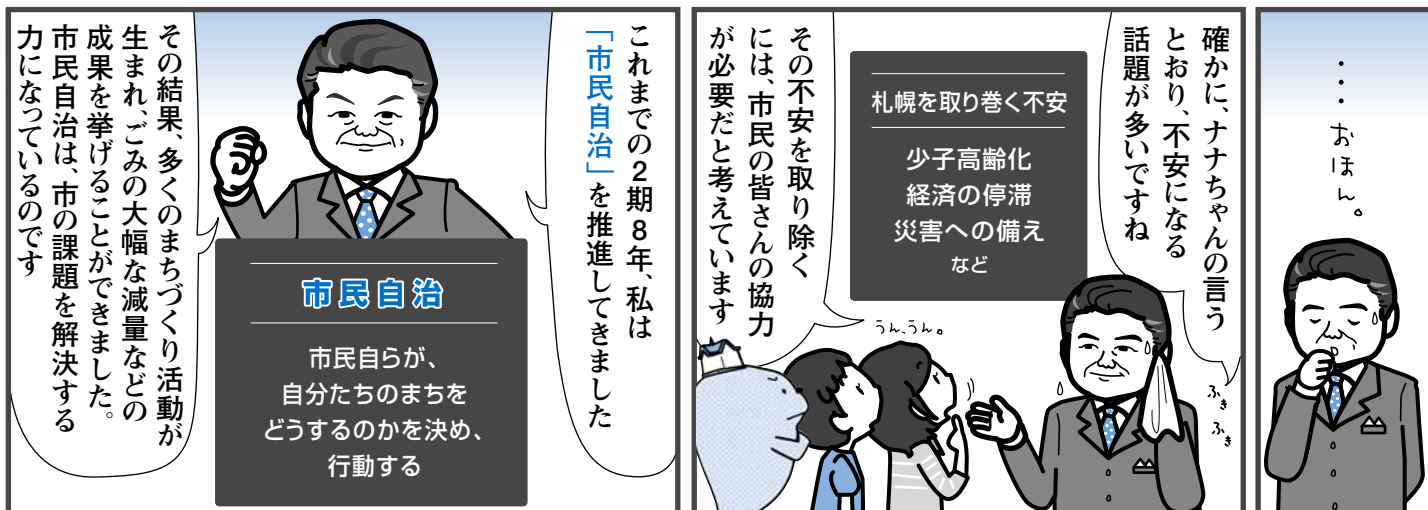
東京出身。進学で来札した大学生。スイーツ好き。

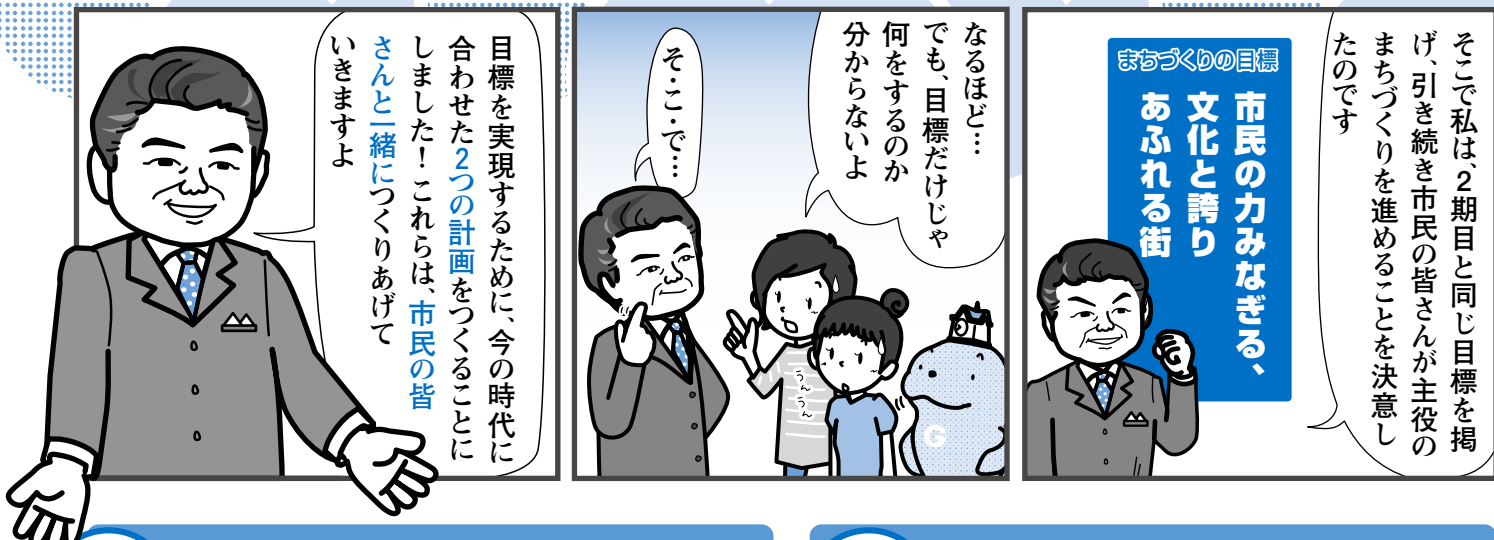


ユイ

生まれも育ちも札幌で、ナナとは大学の同級生。

今回の特集では、札幌をより暮らしやすく魅力的なまちにするために策定する、今後4年間の計画の概要と、本年度の補正予算の内容を紹介。上田市長のまちづくりの考え方を、ナナやユイたちと一緒に見ていきます。





みんなで作る計画
その2

市役所の仕事の進め方や、歳入・歳出などの見直し計画

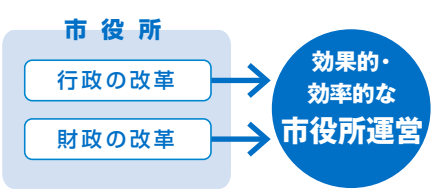
新たな行財政改革に関するプラン

www.city.sapporo.jp/suishinshitsu/gyokaku

計画をつくる理由は？

市役所内の改革を続けるとともに、安定した財政基盤をつくり、市役所の運営を着実に進めるためです。

「仕事」と「お金」の2つの柱があるんだね



こんな計画を目指します

- 市役所の組織や仕事の進め方を見直し、仕事の質を高めるための取り組みを明記する。
- 今後必要となる財源を確保するため、歳入・歳出などの見直しの内容を盛り込む。

みんなで作る計画
その1

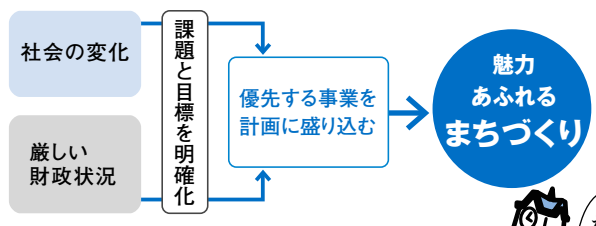
優先して取り組む事業の実施計画

第3次 札幌新まちづくり計画

www.city.sapporo.jp/chosei/3-new-plan/

計画をつくる理由は？

社会の変化と厳しい財政状況に対応しながら、効率的に事業を行う必要があるためです。



こんな計画を目指します

- 優先的・重点的に行う事業の内容と事業費を明記する。
- 取り組みの目標を、具体的な数値を使って分かりやすく示す。

全部いっぺんにはできないからね

12月に完成

「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現へ！



計画への意見を募集中です！

区役所などで配布中のパンフレットやホームページをご覧ください。ご意見をお寄せください。

提出方法はがき、ファクス、Eメールに計画に対する意見を記入し、8/31(水) (必着)までに提出。

第3次札幌新まちづくり計画は → 政策調整課(市役所内/1階) ファクス 218-5109 Eメール new-plan@city.sapporo.jp

新たな行財政改革に関するプランは → 改革推進部推進課(市役所内/1階) ファクス 218-5194 Eメール kaikaku@city.sapporo.jp



このほか、素案を公表する10月にもご意見を寄せていただく機会をつくります。

子ども・子育て

← 子育て中の親子が触れ合える場を増やします 1,448万円

10月から

地域で親子が交流できる場として、99カ所の児童会館で週1回行われている「子育てサロン」のうち、15館について回数を週3回に拡大。また、NPOなどが運営する市内5カ所のサロンに補助を行い、開催日を増やします。

児童虐待や子育ての悩みの相談が毎日24時間可能に

990万円

9月下旬から

児童虐待などの増加を防ぐため、児童相談所に24時間・365日対応の電話相談窓口を設置します。

仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりを支援

1,000万円

9月から

企業が従業員のために設ける保育施設の設置費の一部を補助し、子育てをしながら働き続けられる環境を整えます。

経済・雇用／まちづくり

路面電車の延伸に向けた検討を進めます → 1億900万円

路面電車の延伸に向けた大まかな設計を始めるほか、高齢者が乗り降りしやすく、環境負担が少ない車両の導入などについて検討を進めます。



道産食材の価値を高める取り組みを支援

2,600万円

9月から

道内の農業や水産業などを営む生産者が、加工・販売者などと連携し、新たな価値を持った商品を生み出す「6次産業」の取り組みを支援します。

求職者へのサポート体制を拡大します

4,800万円

9月から

食、観光、環境、健康・福祉の分野の資格取得や、職場実習を行う「職業能力開発サポートセンター」を新たに設置し、求職者の早期就労を支援します。

市民自治／文化・スポーツ

← まちづくり活動の場所を確保しやすくします

2,064万円

集会施設の新築、改築、借り上げ費用の補助を拡充。地域の活動がより活発になるように、町内会などの拠点の確保を支援します。

アジア冬季大会に向けた準備を進めます

2,500万円

2017年に札幌で開催する、ウインタースポーツのアジア大会に向けて、基本計画の策定などを行います。

補正予算額
約50億円

防災体制の見直しなどの経費増により、補正後予算総額は約8,659億円

補正予算に盛り込んだ、取り組みの一部を紹介します。札幌を取り巻く課題を解決するための事業に、予算を積極的に配分しました



んなことにも
みます!



安全・安心／福祉

防災体制を強化します **3億3,810万円** →

東日本大震災の経験を踏まえて、津波や原子力災害に対応できる防災計画への見直しを始めています。加えて、学校などの耐震化を順次進めるほか、寝袋やアルファ化米を新たに購入し、備蓄物資を増強します。

救急時の電話相談窓口の設置に向けた検討を開始 **600万円**

急に具合が悪くなった方に対して、受診先や対応方法を助言する電話相談窓口の設置に向けて、調査を始めます。

特定健診の健診項目を充実 **1億4,655万円**

10月から

40歳以上の国民健康保険加入者を対象に行っている健診に加え、希望者に対し、新たに心電図や貧血などの検査を実施します。(26頁参照)

※後期高齢者医療制度加入者も同様に実施



環境

23年度はこ 取り組



← 中央卸売市場に太陽光発電パネルを設置 **5億2,000万円**

小売業者などが荷さばきを行う「センターヤード」の上に、327kWの電力を生み出す大規模な太陽光発電設備を設置。安全・安心なエネルギーの活用を進めます。

環境に優しい自動車を導入する事業者に補助 **1,125万円**

二酸化炭素の排出量が少ない自動車の導入を促すため、電気自動車やハイブリッド自動車などを購入・リースする事業者への補助を新たに実施します。

